

ゆう和

Air-Conditioning & Plumbing Contractors Associations of Hyogo

2007
秋季号
AUTUMN
No.013

特集1 ひょうごNew Face

県立いえしま自然体験センター

特集2 兵庫のヒーリングスポット

兵庫楽農生活センター

特集3 防災&エコ探検隊

兵庫県広域防災センター(兵庫県消防学校)

ご挨拶



(社)兵庫県空調衛生工業協会
会長 神田 武

困難な時代に立ち向かう結束と 新展開への意欲を共に！

平成19年5月、第32回通常総会において会長に就任いたしました神田 武でございます。

当協会は行政機関、関連団体をはじめ多くの会員の皆様方のご協力、ご理解を賜り28年の歴史を経て、社団法人としての実績を積み重ねてまいりました。このような長い歴史と伝統のある団体の会長に就任し、その責任の重さを痛感しているところです。

我々が業としていきます設備工事―水・空気・環境をはじめとする「空調衛生工事」が、現代建築に大きな役割を果たしてきていることは皆様もご存知の通りです。

地球温暖化による環境問題は避けて通ることができません。これからの設備工事業の役割はますます重要な位置付けになると思います。

建設業界の傘下にある我々の業界は、価格競争の影響をもろに受け、厳しい経営状況が続いています。業績の回復、地位向上のためにも適切なコストでの受注を目指して「分離発注」を促進していかなければならないと思います。

また、社会の産業構造そのものが大きく変わりつつある中、当協会も公益法人としての役割を十分に認識して、業界だけでなく社会からも信頼される団体としての活動をしなければならないと考えています。昨年、県当局と協会で締結しました「災害時における機能復旧対策業務応援に関する協定」につきましても、災害発生時に実施できる「初動体制」を確立するため、連絡網を整備し、災害発生時には迅速な対応が容易となりますように努めたいと思っておりますし、各般の委員会を中心に新しい取り組みにも着手していきたいと考えています。

なお、今年度からは、当協会の運営を県内企業の理事のみで運営してまいります。これも今日の時代の変化の表れではないかと思えます。近年会員が減少傾向にありますが、単に会員が多いとか少ないとかが問題ではありません。業界発展のための本気の心が結集した時のパワーは足し算でもなく、掛け算でもない、無限の可能性を秘めていると思います。

来年は、設立30年に到達しようとしています。当協会を魅力ある協会と感じていただくためにも、理事会が一丸となって協会活性化に取り組み努力をいたします。また、会員各位におかれましても協会活動への積極的なご参加をお願いいたします。

最後になりましたが会員各位の皆様のご発展とご健勝を心から祈念申し上げますと共に、格別のご理解、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。



秋季号／表紙
多島海風景が美しい家島諸島。この澄んだ海を、これからもずっと守っていきましよう。
写真提供は、写真家：大東照男氏及びいえしま自然体験センター

CONTENTS

YUWA 2007 AUTUMN No.013

会長挨拶

(社)兵庫県空調衛生工業協会 会長 神田 武

1

第32回通常総会

3

委員会活動方針

5

特集1 ひよっこ NEW FACE 兵庫県立いえしま 自然体験センター

ひよっこ NEW FACE 7

兵庫県立いえしま
自然体験センター

7

特集2 兵庫のヒーリングスポット 兵庫楽農生活センター

兵庫のヒーリングスポット 9

兵庫楽農生活センター

9

現場レポート 兵庫県立三木総合防災公園 『ビーンズドーム』

現場レポート 11

兵庫県立三木総合防災公園
『ビーンズドーム』

11

行政懇談会

15

特集3 防災&エコ探検隊 兵庫県広域防災センター

防災&エコ探検隊 17

兵庫県広域防災センター

17

県庁だより 兵庫県立考古博物館

県庁だより 19

兵庫県立考古博物館

19

新会員紹介

新会員紹介 20

お知らせ

お知らせ 21

トピックス

トピックス 22

日本文化デザイン会議
全国菓子大博覧会・兵庫

22

社団法人 兵庫県空調衛生工業協会 第32回 通常総会

◇日時:平成19年5月22日(火) ◇場所:ホテルオークラ神戸1階 平安の間 ◇参加者数:247名



平成19年5月22日、神戸市中央区のホテルオークラ神戸において第32回通常総会を開催。
会長・神田武〔株但馬近畿工業〕、副会長・伊藤次郎〔株三神工業〕および中條昌彦〔中條建設工業株〕
をはじめ理事15名、監事3名が選任されました。



(社)兵庫県空調衛生工業協会
副会長 伊藤 次郎

第32回通常総会懇親会に、五百蔵兵庫県副知事様をはじめ多数の方々にご列席を賜り、本場にありがとうございます。

私、本日の通常総会において会長に選任されました神田でございませう。一生懸命頑張りますので、どうかよろしくお願いいたします。また、堀江貴雄前会長には、本場に厳しい社会の中で、永年にわたり、我々業界のリーダーシップをとってご尽力を賜りましたことに、協会を代表いたしまして、深甚の敬意を表したいと思います。

兵庫県空調衛生工業協会は、多数の会員の方々、そして歴代の会長様、役員の方々の日々の努力により、業界を代表する本場に素晴らしい団体として活動してまいりました。その、歴史と伝統ある団体の会長として私が就任いたしましたことに、非常に大きな責任を感じております。

先ほどの総会で役員・理事が選任されましたが、我々は、平成19年度事業計画に基づき、協会を運営してまいりたいと思っております。昨今の社会を取り巻く情勢は、大きく変化いたしました。その中で、皆

様に迅速な情報提供をいたしながら、活発な魅力ある協会にしていきたいと思います。また、公益法人としての役割を十二分に再認識しながら、協会だけではなく社会全体から信頼される団体となるよう務めてまいりたいと思っております。

ここ数年、会員が減少しております。「数は力なり」という言葉もございませう。この会員減少を何とかして食い止めねばならないと思っております。そのためには、今日ご出席の会員の皆様方がそれぞれ地域に帰られまして、まだ会員になっておられない方に声を掛けていただき、一人でも会員が増えるように、会員増強にご協力をいただきたいと思います。

協会はご存知のように企業の集まりでございます。私は、企業には三つの大きな目標があると考えております。一つは社会貢献、二つ目は利益を上げること、そして三つ目は働き甲斐のある職場です。二つ目と三つ目は企業がそれなりに努力すれば、何とかできますが、社会貢献は、企業ではなかなか難しいのではないかと考えます。ですから、その面から取り組んでいくということが、これからの協会としての大きな課題ではないかと思っております。

来年、協会は、30周年を迎えます。私は、20周年の時に関わっております。

して、「21世紀のビジョン」をつくりました。それが今消え去っているような気がいたします。その時のものが現代にマッチするかどうかは分かりません。ですから、もう一度21世紀のビジョンを見直し、今の時代に合ったものをもう一度掘り起こしてみたいと考えます。そして、30周年に向けて、魅力ある団体として皆様の前にお披露目したいと思っております。理事・堂・丸となつて努力してまいりますので、会員の皆様方も、積極的に協会の活動に参加していただき、より魅力のある協会づくりにお力をお貸しくださいませう。よろしくお願いいたします。

本日はたくさんのご来賓の方々にお越しくださいまして、兵庫県空調衛生工業協会に、これからもご支援ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願いたします。簡単ではございますが、ご挨拶に代えさせていただきます。



兵庫県副知事
五百蔵 俊彦氏
祝 辞

兵庫県空調衛生工業協会の通常総会を滞りなく終えられましたことを心からお喜び申し上げます。

数々の業界の中でも貴協会は、18年度に災害特別委員会を設置、年末には応援協定を締結など、地域で活躍される企業として住民に安心感を与え

ておられると思われませう。阪神・淡路大震災での活躍と併せ、感謝申し上げます。

公共事業の先行きは不透明ですが、やらなければならぬことは多々あります。更新投資がこれから必要不可欠になると思われませう。そういう流れの中で、最新鋭の県立病院がいささか増えています。公営住宅や学校の耐震改修、省エネに配慮した設備の充実なども世の中のスタンダードになつてきつております。そういう側面でも皆様の活躍を期待しております。

昨今、入札契約制度をめぐって、色々言われております。私たちが透明性のある仕組みづくりをスタートさせております。しかし、地域で本場に住民の頼りになる存在として働いていただける方々を大切にすることがあります。また、地元企業育成は県の大切な仕事のひとつでもあります。皆様方の率直なご意見を聞かせていただきながら、皆様と信頼関係を結び、一緒に地元・兵庫県のために働いていきたいと思います。

最後になりましたが、3期6年ご活躍された堀江前会長様、本場にありがとうございました。心からお礼を申し上げます。引き続きご指導のほどをよろしくお祈り申し上げます。皆様方会員企業それぞれが大きく発展され、兵庫県空調衛生協会が設立の目的にしたがって

信頼を勝ち得て活躍されますことをご祈念申し上げます。ご挨拶とさせていただきます。



兵庫県議会議員
立石 幸雄氏
祝 辞

総会が無事終了されましたことをお喜び申し上げます。

景気は少し回復傾向にあるといわれます。それは、県税収入を見ても分かります。しかし、中小・零細企業の皆様方が回復を実感していらつしやらないことも承知しております。

県も色々な課題を抱えております。今県債の残高が3兆1千億残っており、償還していかねばならないという厳しい財政状況であります。そして、その後は、ポスト行革が控えております。しかし、公共事業は、いるものがあるのだという認識の中で考えております。そのキーワードは「安全・安心」です。そして、公正性、透明性が求められるようになっております。私たちはそういう中で、業界の皆さんと一緒に知恵を出し、これからのビジョンに立つて頑張っていかなければならないという思いを新たにしております。

この総会を機に、これからますます業界および皆様方の企業が発展されることをお祈りしながら、ご挨拶とさ



兵庫県議会議員
羽田野 求氏
祝 辞

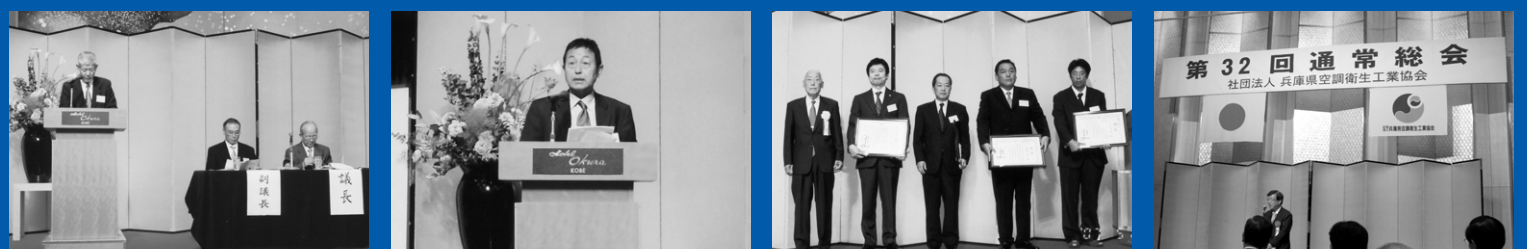
させていただきます。

第32回兵庫県空調衛生工業協会総会、誠にありがとうございました。

神田会長からございました社会貢献の話で、ちょっと耳寄りな話を仕入れました。これまで、シックハウス対策は厚生労働省、省エネ対策は国土交通省とバラバラに動いておりました。ところが、19年度に向けて、国交省と厚生労働省が、協力して大規模な研究・取り組みをしようということになり、6億円ぐらいの予算獲得の動きが出てきております。これは、関西圏で動いておりまして、皆様方にもご協力いただくといい機会が出てくるのではないかと思います。

温暖化防止をはじめ、これからさまざまな分野で課題が出てくると思っております。貴協会の皆様におかれましても、それぞれの立場で社会貢献のあり方を考えていただき、一緒に取り組んでいただきたいと思います。

建築業界の企業数はピーク時より約17%減と、厳しい環境ではございますが、今日ご参会の皆様には、しっかりとご活躍いただき、また、協会のご発展をお祈り申し上げます。私のご挨拶に代えさせていただきます。



委員会活動方針

総務委員会

技術委員会

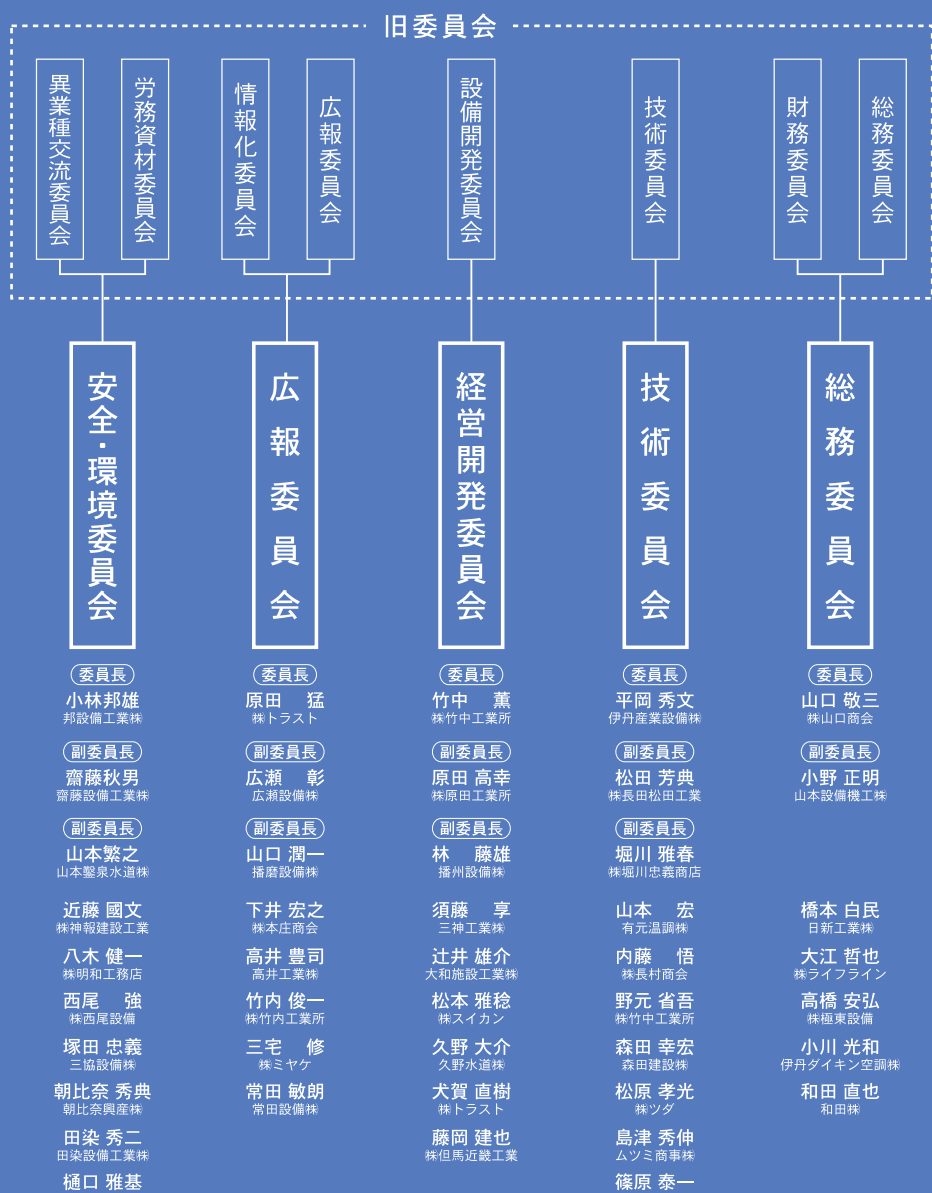
経営開発委員会

広報委員会

安全・環境委員会



平成19年度 協会事業運営委員会組織の再編並びに 各委員会業務について



- ① 人事並びに表彰等に関する事項
- ② 事務局職員の人事並びに給与に関する事項
- ③ 会員の入退会に関する事項
- ④ 諸規定の改正に関する事項
- ⑤ 会費の改正に関する事項
- ⑥ 予算の編成・決定に関する事項
- ⑦ 会費の請求並びに領収に関する事項
- ⑧ 什器備品の購入並びに資産の管理に関する事項
- ⑨ 現金の出納管理に関する事項
- ⑩ 委員会組織に関する事項
- ⑪ 議事録の管理保存に関する事項
- ⑫ ⑩の委員会の所掌に属しない事項

- ① 設備技術向上についての調査研究・指導に関する事項
- ② 法令の普及、指導に関する事項
- ③ 建設防災排煙設備の調査研究及び防災公署防止の啓発に関する事項
- ④ 技術講習会に、研究会・見学会の実施に関する事項
- ⑤ 行政庁が行う事業の受託に関する事項
- ⑥ 賛助会員との情報交換・連携に関する事項
- ⑦ 設備機器・資材の調査研究に関する事項

- ① 諸官庁に対する建議、答申、陳情に関する事項
- ② 工事発注機関に対する連絡調整に関する事項
- ③ 建築設備工事の分離発注に関する事項
- ④ その他の市場開発促進に関する事項
- ⑤ 一般設備利用者に対する協会事業のPRに関する事項
- ⑥ 協会のホームページ作成・更新に関する事項
- ⑦ データベースの整備に関する事項
- ⑧ 電子入札、電子施工管理、及び電子納品に関する事項

- ① 一般設備利用者に対する啓発及び広報に関する事項
- ② 会報の編集及びその他の広報のための刊行物に関する事項
- ③ 名簿刊行に関する事項
- ④ 会員企業、団体企業への情報伝達及び情報交換に関する事項
- ⑤ 一般設備利用者に対する協会事業のPRに関する事項
- ⑥ 協会のホームページ作成・更新に関する事項
- ⑦ データベースの整備に関する事項
- ⑧ 電子入札、電子施工管理、及び電子納品に関する事項

- ① 技術者・技能者の育成指導に関する事項
- ② 労務対策に関する事項
- ③ 労務資金・間接経費の調査研究に関する事項
- ④ 雇用管理改善の調査研究に関する事項
- ⑤ 若年技術者等の確保のための調査研究に関する事項
- ⑥ 地球環境等環境問題についての調査研究に関する事項
- ⑦ 新しい事業展開についての調査研究に関する事項

総務委員会

委員長 山口敬三

この度総務委員会に配属されました山口敬三です。総務は前回に続き2期目となりますが、初心に返って総務委員会に取り組みたいと思っております。幸いにも、委員会の中には協会活動のベテラン、そしてホープとメンバーに恵まれたこの人選に感謝しています。

さて、総務委員会と言いますと、その範囲は多岐に渡り協会の根幹をなすかと思えます。総会・新年交礼会等の例年の行事の心配はもとより、この2年間の与えられた時間の中で新しい協会像を模索するべく委員会活動を進めて参りたいと考えています。

具体的には定款・諸規定等々を改定すべき点があれば積極的に検討していきたいと思っております。「積極的に活動する総務委員会」を目指していきたいと思っております。

その事柄が少しでも協会の発展に寄与すれば幸いかと思っております。我々委員会一同一致団結して進んで参りますので宜しくお願いいたします。

技術委員会

委員長 平岡秀文

今期の技術委員会では、「品確法」に伴う技術向上の為の研修会を開催するという計画を立てており、19年は良好な現場施工管理手法及び注意点を中心とし、兵庫県検査室様に御講義戴き、顧客の望まれる品質を充分認識して戴ければ幸いと思っております。

又、20年には賛助会員との情報交換連携を図る為、講演又は見学会等を計画し、新たな技術、合理化案を提供できればと思いい、調査研究を行う予定です。

開催の折には、一人でも多くの会員の皆様にご参加戴きたく宜しくお願ひ申し上げます。

経営開発委員会

委員長 竹中薫

明るく希望に溢れた業界の実現へ力戦奮闘されている協会の風雲児・神田武会長。

私儀、経営開発委員長の任を仰せつかり、戸惑い隠せぬ毎日を憂鬱に過ごす：竹中薫でございます。しかし幸いにも、委員会メンバーが協会屈指の精鋭ぞろい、まさに前途洋々であります。さて、「公共工事の入札及び契約の適正化の促進に関する法律」が施行され、同時に政府推進のe-Japan計画も進んでおります。むろん我が業界でも、建設CALS/ECが地方展開プログラムによって各地域にも浸透し、完全実施が目前に迫りつつあります。しかしながら、建設業を取り巻く環境は未だ厳しく、「入札契約適正化」を十分理解し、対応出来ないの現状です。そこで、今期経営開発委員会では、

- 一 地方公共団体に於ける「入札契約適正化」の運用状況を参考に、建設設備工事の分離発注実施促進に向け活動する。
- 二 適正化指針のフォローアップに必要な建議、陳情を積極的に行う。
- 三 会員企業が関連業界・行政と協調し、各地域に於ける公益活動に参加できるように環境整備を行う。

以上の3事項を掲げ、委員会メンバー一同チームワークよろしく協会事業に邁進する所存でございますので、ご支援の程よろしくお願ひいたします。

広報委員会

委員長 原田猛

広報委員会では、年2回の会報誌「ゆう和」の発刊と協会ホームページのリニューアルに取り組みでまわります。「ゆう和」の紙面づくりについては、新会長のもと新たな委員会が組織されたことを踏まえ、イメージを刷新した仕上げにしていきたいと思っております。特に今年度は下記の5つのテーマにポイントをおいて、協会の活動をつぶさにお届けします。

- 各委員会がどのような取り組みをしているのか紹介します。
- 環境、エコ、防災を題材にした県の新たな施設とその魅力を紹介します。
- 知事とのトップ対談、県の政策や動きをお知らせします。
- 会員外の方々にも協会活動に理解、評価を頂ける紙面を目指します。

● 業界の動向や会員のメリットに繋がる情報、話題を提供します。現在「ゆう和」は協会の紹介や啓発活動、活動の記録として欠かせない誌面となり、会員企業、関係団体、官公庁を対象に400部を作成し配布しています。

今後も委員会メンバーで力を合わせ、出来るだけ見やすい誌面づくりを目指し、魅力ある会報誌の作成をまいりますので、情報提供も含め皆様のご協力をお願い申し上げます。

安全・環境委員会

委員長 小林邦雄

今年度から新しく労務資材委員会と異業種交流委員会が統合され、加えて環境の課題に取り組み委員会として発足しました。

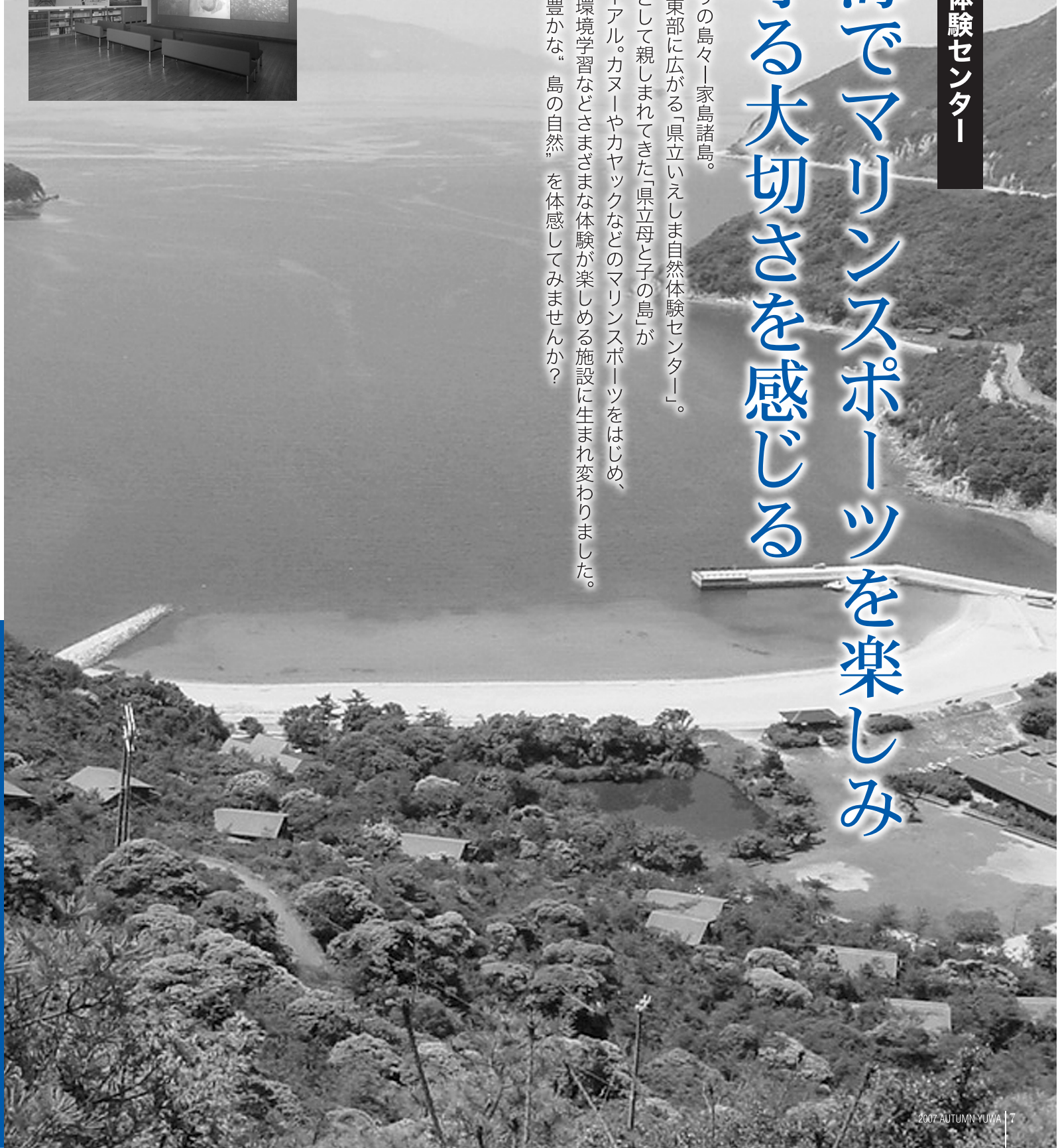
安全のことについては、その目的とするところは、会員の皆様も良く理解、認識されており、今年度も安全大会を開催したいと考えています。

環境問題ですが、これが近年重要視されてきました。「地球に優しく。人に心地よく」と言われますが、COの排出を少なくするための機器の開発はハイスピードで進んでいます。空調の分野においても新しい機器が次々と開発され、我々もこれを理解し利用していかなくてはなりません。そのための研究会や講習会をと考えていきたいと思っております。

兵庫県においても、太陽光発電や屋上緑化の装備などが推進されているようですが、これらの研究も新しい取り組みとして考えてはどうかと思っております。

透明な海でマリンスポーツを楽しむ 環境を守る大切さを感じる

播磨灘にポツカリ浮かぶ40余りの島々―家島諸島。その中で、一番大きな西島の南東部に広がる「県立いえしま自然体験センター」。今年5月、青少年野外活動施設として親しまれてきた「県立母と子の島」が環境学習機能を備えてリニューアル。カヌーやカヤックなどのマリンスポーツをはじめ、キャンプ、海水浴、ハイキング、環境学習などさまざまな体験が楽しめる施設に生まれ変わりました。この秋の休日は、家族そろって豊かな「島の自然」を体感してみませんか？



【シンボルゾーン】

白砂の海岸に沿って広がるシンボルゾーンは、島生活のベースとなるところ。シンボルセンターには食堂や浴室などが設けられ、緑豊かな斜面には大小のロッジが点在しています。野外炊事場、ファイアー場などもあり、自炊やキャンプファイアーもOK。夜は、波の音を聞きながら空には満天の星、砂浜には宝石箱のような夜光虫、天と地の光の競演に時の流れを感じません。

■マリンスポーツ

いえしま自然体験センター一番のお楽しみはマリンスポーツ体験。カヌーやシーカヤックに加え、船



底の一部が透明になっていて漕ぎながら海中観察ができるクリアカヌーも仲間入り。パドルの操作法に慣れば、沖へ出ることも可能。カヌーやカヤックは思いのほかスピードがあり、岸がどんどん遠ざかり、目に映るのは青い海と空。山の緑だけ。まさに自然に抱かれている気分が味わえます。

■環境学習センター

体験センター内に新設された環境学習センター。近海の魚が泳ぐ円形の水槽は、実際に海の生き物に触れられるタッチプール。タコを手のひらに乗せ、吸盤が吸い付く感触を味わってみるのも一興。タッチパネルに触れながら環境問題を学べるコーナーも興味津々。

島内には、ほかに、生ごみ処理を体験できる施設や、バイオトイレ、風力発電設備などが設置されていて、生活をする中で環境学習ができるようになっていきます。

■アクティブゾーン

常設テントや野外炊事場、バイ



オトイレなどを備え、本格的なキャンプが楽しめるアクティブゾーン。海水と真水が混ざった珍しい池の周りにはビオトープが広がっています。海浜植物群生地や昆虫の森もあり、自然観察にぴったり。自然の岩場は、磯遊びや魚釣りに絶好のポイント。魚や海藻、小さな貝類など、夕食の材料を自力でゲットしましょう。

島に自動車はありません。シンボルゾーンからはハイキングで訪れます。



【秋のイベントガイド】

いえしま自然体験センターには、年間を通して海や自然に親むさまざまなイベントプログラムが用意されています。

イベント名	日程	参加対象	参加費	内容
親子ヨット教室	10/6~8	親子・成人・小学4年生以上の子ども	中学生以上18,000円、小学生17,000円	親子でヨットの操船技術を学び、ふれあいを深める。
子どもエコリーダー養成講座	10/6~8	小学4年生~中学3年生	5,500円(船費別途)	自然の素晴らしさを五感で感じ、豊かな自然を守る心を育てる。
秋の親子自然体験	11/23~25	親子・家族	中学生以上12,000円、小学生11,000円(ロッジ代別途)	島内散策、魚介類料理実習、野外パーティーなどを通して島の秋に触れるとともに、親子のふれあいを深める。

アクセス

JR姫路駅前から市営バスで姫路港へ。姫路港~いえしま自然体験センター間の船は予約が必要。前日の午前中までに、いえしま自然体験センターまで船便をご連絡ください。船の時刻表は下記ホームページに掲載されています。

問い合わせ

兵庫県立いえしま自然体験センター TEL:079-327-1508・1509 FAX:079-327-1461 <http://www.shizen-ieshima.com>